

「農」の最前線をお届けする、農業人のための広報紙

安心のネットワーク  
NOSAI北海道

# NOSAI

# ほっかいどう



2022.11  
Vol.3

contents

## 株式会社GB産業化 設計を訪ねる

企業・地域・生産者を繋ぎ合わせる  
北海道の案内人

園芸施設共済加入者への  
インタビュー ほか

## NOSAIクイズ

抽選で30名に「柳月 十勝地区限定  
オリジナル商品詰め合わせセット」を  
プレゼント!





特集 企業訪問

企業・地域・生産者を  
繋ぎ合わせる  
北海道の案内人

いわ い ひろ ふみ  
岩井 宏文さん



クラフトジン：「火の帆」

道内で農林漁業分野における各種プロジェクトをコーディネートする株式会社GB産業化設計。道内の法人や生産者とのホットラインを結び、地域の農林漁業の経営課題や地域活性化ニーズへの取り組みといったプロジェクトを企画・設計し、生産者や企業の窓口として運営しています。

一方、株式会社積丹スピリットの代表としての二つの顔を持つ岩井宏文さん(52)にそれぞれの会社の事業内容についてお話を聞きました。

株式会社GB産業化設計  
株式会社積丹スピリット

代表取締役 岩井 宏文さん

昭和44年8月5日生まれ。宮城県仙台市出身。平成7年北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻修了後、北海道開発コンサルタント株式会社を経て、平成19年財団法人北海道農業企業化研究所に入社。平成23年同社を退社後、株式会社GB産業化設計を設立し、代表取締役に就任。平成30年株式会社積丹スピリットを設立し、代表取締役に就任。

## GB産業化設計を立ち上げたきっかけは？

**岩井** 北海道に行きたくて農業や基幹産業との関わりを持ちたいなと思いつつも進んだ道が北海道大学・工学部建築工学科でした。

しかし、都市計画に関わる仕事では私がやりたいイメージではありません。私が描いていたのは現場に入りながらいろんな人たちのパワーがそこに充填されていくといった世界でした。そういう意味で農業の世界を知らなければいけないということから、財団法人北海道農業企業化研究所にご縁があり4年間お世話になりました。

平成23年4月に独立して株式会社GB産業化設計を立ち上げました。その年はちょうど6次産業化が制度化された年で、北海道で初めて6次産業化プランナーの募集が開始されました。

どうか北海道内の6次産業化プランナー4人のうちの1人になりたいということを銀行や企業の方たちへ伝えていたので、独立の流れになり実現したわけです。

## GB産業化設計が生産者に与えるメリットは？

**岩井** 農業から見ると地域や集落、市町村といった単位で語れるし、あるいは農業に関連する企業とのパイプも繋がります。農協という地盤を加味してもっと儲けたい生産者もいますし、あるいはもっと新しい世界を見たいという生産者もいます。そうやって若者が主体となつて農業を担っていかないといけないから、その時に必要な情報源はどうあるべきかを考えると、基本的に農業は全てにおいて必ず接点を持つベスになると考えています。

私のように建築や都市計画をやっ



「北海道の農業ともっと関わりたい」と思いを語る岩井代表

ていると、例えば建物や設備を作りたいといった時のネットワーク、補助金を受けたいといった時のノウハウなどが私の中にあたりたりするわけです。そのチームが今のGB産業化設計になっています。

## 農業者からのご相談はありますか？

**岩井** 相談はありますが、企業が新規事業を立ち上げたい時に我々に相談されるケースが多いですね。いろんな企業からの案件に対して応えてくれる生産者や地域などを順にあたつていって、我々が考えるベストなエリアはどこだろうと発注者の



忙しい中でも社員とのミーティングを大事にしている

皆さんと話をさせていただきます。企業のやりたいことを実現するために立地の選定や農業者の方たちとの接点を繋ぎ合わせます。一方、地域や生産者の方たちにもメリットや、やりがいを担保する計画を作り上げていきます。我々は北海道の案内人みたいなものです。



株式会社  
**GB産業化設計**  
Green & Blue planning Inc.

「農林漁業現場 (Green&Blue) から産業化を創造する」をテーマに北海道の農林漁業の潜在力から新たな地域づくりや産業活力を創造する事業化を専門とするプランニング会社。

- ◆所在地 / 札幌市中央区南1条西11丁目327番地
- ◆設立 / 平成23年10月5日
- ◆資本金 / 1,500,000円
- ◆従業員数 / 正社員3人 契約社員2人
- ◆主な事業分野
  - 農林漁業ビジネスに関する情報収集
  - 新たな農林漁業ビジネスに関する設計開発
  - 農業経営の改善や6次産業化の支援
  - 農山漁村集落や地域の活性化

- ◆お問合せ先 011-211-4689
- ◆ホームページ <https://gb-hokkaido.com>





積丹町にある蒸溜所「積丹スピリット」

# 積丹海森計画から生まれた クラフトジン「火の帆」

もう一つの顔となる「積丹  
スピリット」を立ち上げた  
きっかけをお聞かせくだ  
さい

**岩井** 積丹町には大学院時代の研究で大変お世話になり、30年経過して松井町長に再会したのが、7、8年くらい前でした。その時に「人口減少が予想以上に速く、小中学校などの公共施設が空いてしまったり、遊休農地が増えたりしたのでどうしたらよいか。過疎化が進むにつれ何かにチャレンジして新しいものを生み出そうというムードをつくりたい。それを実現するためにどうすればよいのだろう」という相談

を受けたのが最初です。

ちょうど地方創生事業が平成28年からプレ事業として始まり、平成29年から本格運用というタイミングでした。そこで地方創生事業の事前調査として、町の資源を組み合わせた6つのプロジェクト「積丹R-E-A-C-T」を立ち上げました。その中の一つには牧場跡地の遊休農地を利用した樹木栽培とハーブ栽培を主としたジンを作ってはどうかという提案をしました。

アイデアが面白いと積丹町が平成29年に内閣府に提案した結果、3年間の地方創生事業を獲得し、事業1年目はGB産業化設計が請け負い、3年目に株式会社積丹スピリットを立ち上げて事業に取り組みました。

代表に就任した経緯は、スコットランド、イギリスに視察に行き、これは事業化できると確信を持ったからです。一線を

越えてその先へ行こうというタイミングを探っていましたので、皆さんに賛同をいただいて代表に就任することになりました。

根底にはどういう風に地域が生き続けられるかということがあります。積丹町の人口は現在約1800人ですが、20年後には約700人になる推計です。これは、ほぼ集落的に危機的な状態です。そんな中で会社を作ってどのように活力を増していけるかという答えは見えませんが、やれることをやって20年後にどうなっているのか見届けようと現在取り組んでいます。

**なぜジン  
だったのでしょうか？**

**岩井** ジンの原料の一つは野草です。野草には樹木もあれば、葉、枝、香りのする人が食べた経験があるもの全て原料になります。あとはハーブ類、旨味成分を含む食材まで利用することができます。ワインでは1キロのブドウの原料から1本しかできませんが、ジンの場合、50リットルを作ろうとすると原料量も比較的少



ホルスタイン社製(ドイツ)の蒸溜器



Juniper berry.



様々なボタニカルがおいしいジンを作る

量でいいので、非常に原料効率がいいのです。

ジンの製造は無味無臭のサトウキビ由来のアルコールに針葉樹の実ジニパーベリーを含む地元のボタニカル（植物素材）を漬け込みます。そうするとアルコールにボタニカルの匂いが浸透して、それを蒸溜することです。香りになります。

積丹半島は海から山の頂上まで半径10<sup>km</sup>以内にあります。ですからアカエゾマツの新芽やハマナスの花を使うことができます。そのためにも遊休農地を有効活用して自分たちの農場でボタニカルを栽培するという意味合いがあります。現在は5畝ですが、樹木園を20畝まで拡大する計画です。実のある森を作

りながら全部ジンに投入すると地域の経済は豊かなものになっていくと考えます。

## クラフトジン「火の帆」とは？

**岩井** 炎の語源は「火の穂」と言います。我々のコンセプトは「人々の魂に火をともし、勇気と希望を与える『火の酒』をつくる」ということから海の街をイメージして「穂」を「帆」に変えて「火の帆」としました。

ファーストリリースのジンが「KIBOU」です。KIBOUに命名したのは、我々の創業が令和2年5月だったので、コロナ禍の真っ只中でした。世界中が大変なことになつていたので希望の光をとの願いを込めて「KIBOU」としました。「火の帆」シリーズにはアカエゾマツのボタニカルを使用した「KIBOU」以外に花のハーブを利用した「BOUQUET」、積丹ブルーの「KIBOU BLUE」、塩味を感じる「UMI」とバラの香が際立つリキュールの「BOUQUET

LIQUEUR HAMANASU」の5種類があります。

「火の帆 KIBOU」は「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022」において金賞を受賞することができました。お蔭さまで売れ行きは好調です。

## 年間の製造本数はどれくらいですか？

**岩井** 夏の間は農場にかりきりになるので、ジンの製造は9月下旬から翌年4月くらいまでに行います。一年の内製造のピークを冬季間に持つていき、年間18000本（500<sup>リットル</sup>換算）製造しています。



東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022で金賞を受賞した「火の帆 KIBOU」

**岩井** 私たちの事業としての営みは、つまるところ積丹半島、ひいては北海道の豊かな自然環境をいかに維持・保全して行くかの活動にほかなりません。新たな事業展開というよりは、私たち道民が海や森を守り育て、楽しむライフスタイルを当たり前の日常にすること、このために事業を推進してまいります。

## 今後の新たな事業展開はありますか？



Shakotan Spirit

株式会社積丹スピリット

積丹半島をフィールドにクラフトジンを製造する会社。クラフトジンの蒸溜所では日本初となるハーブ等の原料となる香草植物の農業生産から原料乾燥・貯蔵、蒸溜までを一貫工程で実施している。

- ◆所在地／積丹郡積丹町大字野塚町 字ウエント229番地1
- ◆設立／平成30年3月16日
- ◆資本金／39,000,000円
- ◆従業員数／正社員4人 パート社員2人
- ◆主な事業分野
  - 酒類の製造販売
  - 酒造技術者の育成
  - 地域の活性化事業
- ◆お問合せ先 0135-48-5105
- ◆ホームページ <https://shakotan-spirit.co.jp>
- ◆オンラインショップ <https://shakotan-blue.jp>



Online shop



## イチゴでつながる絆を大切に

Instagram  
やってます!



帯広市 上田いちご園。

上田 <sup>ひで</sup>秀樹さん  
<sup>とも</sup>友子さん

経営内容

イチゴ  
ビニールハウス  
4棟 (1,700㎡)



UEDANOITIGO



新規就農でイチゴを栽培

帯広市幸福町の「上田いちご園。」(代表・上田秀樹さん(49))は、高設栽培で四季なりイチゴを栽培しています。品種は「すずあかね」を主体に栽培し、道内の市場や関東方面、地元の洋菓子店などに出荷しています。

上田さんは平成22年に新規就農し、現在は収穫の繁忙期を除き、妻の友子さん(50)と二人三脚で営農しています。

自動車整備士として働いていた秀樹さんは、休日に立ち寄ったカフェで読んだ本に書いてあった「すべての基本は農業」という言葉に魅力を感じ、農業に興味を持ちました。自分も農業をしたいという思いが強くなり、平成21年に滝川市の花・野菜技術センターが実施する総合技術研修を半年間受講し、翌年から就農しました。

「自分たちの作ったイチゴを食べた人から『おいしかったよ!』などの声を聞くと本当にうれしいです」と話す秀樹さん。ドラマの撮影に同農園のイチゴが使われたり、Instagramを見た人たちが直接イチゴを買いに来してくれるなど、秀樹さんは「イチゴを通してつながりが農業を続けるモチベーションです」と笑顔を見せます。



葉がきに精を出す秀樹さん。7月が収穫の最盛期で、この時期は日の出前から作業を始めます



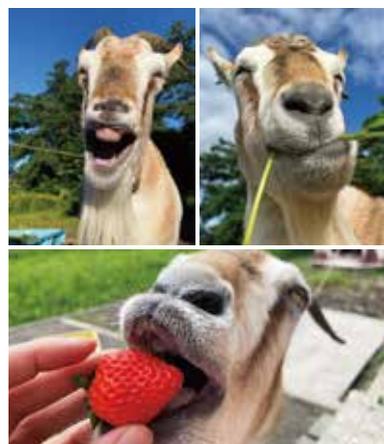
## 4月の強風でハウスに被害

秀樹さんは、営農する中で販売先の確保や天候が心配だと言います。今年の4月27日に就農後初めて強風の被害を受けました。農園の前を走る道路では畑の土が舞い上がり、砂嵐の影響で多重衝突事故も発生しました。秀樹さんは「ビニールが破れたハウスを見て頭が真っ白になり、かなり落ち込みました」と当時を振り返ります。「園芸施設共済に加入していて良かったですね。苗代を支払い、収穫前で収入が少ない時なので、なおさら助かりました」と話します。

園芸施設共済には、NOSA職員が加入推進で制度の説明に来た際に加入しました。「ハウス内の苗を守るため、早急にビニールを張り替えたかったので、NOSAに連絡したところ、すぐに被害の確認に来てくれました。職員さんの対応も良かったです」と、秀樹さんは被害時の対応を評価します。制度の説明を受けて納得して加入しましたが「ビニール



4月の強風で苗に砂が付着したため一株ずつ水で洗い流しました



仕事の疲れを癒してくれる農園スタッフのヤギ「クッカ」。農園のInstagramでは、イチゴよりもクッカの話題の方が多いか!?

が古くなると、補償も低くなることは理解していましたが、もう少し補償が高いと助かりますね」と、制度への要望を話します。

## これからもイチゴを作り続ける

就農してから10年以上が経過し、営農も順調に進んでいます。「今後は、いちごジャムやいちご大福などを商品化していきたいです」と妻の友子さんは意気込みます。ジャムの瓶に貼付けするシールは、農園の看板をデザインした長女の友人が作成し、すでに完成しています。

「就農後、多くの人に助けてもらいここまでやって来られました。現状の経営規模で、これからも食べた人が幸せになるようなイチゴを作っていきたいです」と、青空の下、幸福駅の近くでイチゴを栽培する上田さん夫婦は口を揃えます。

# 収入保険

# 加入する農業者、増えています！

青色申告者の20%が既に参加

安い保険料で積立金は75%を国が負担

支払件数47%越え

Q 北海道の加入状況は？

A 北海道は毎年加入が伸びており、農業経営体（青色申告）のうち、約5人に1人の方が収入保険に参加し、令和5年も増加する見込みです。（図1）

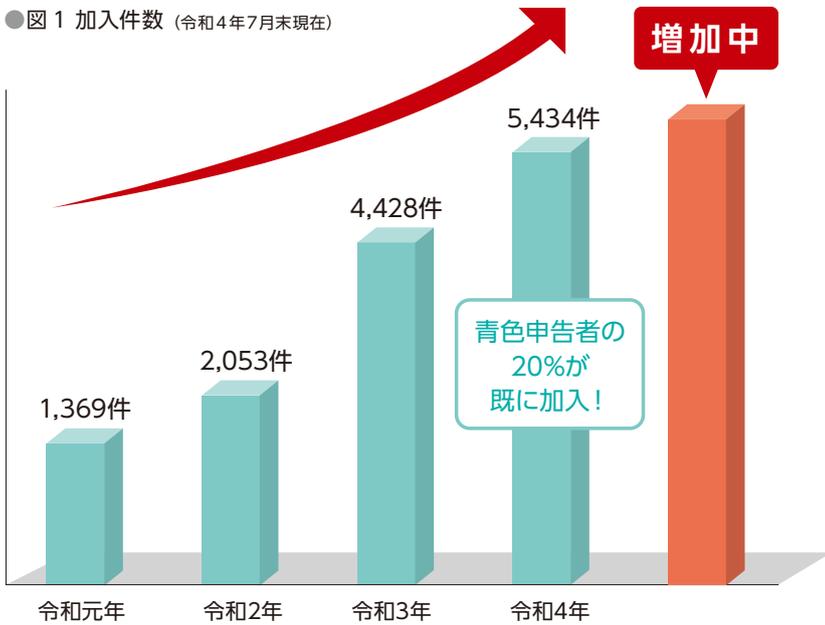
Q 掛金が高いよね？

A 保険料は50%が国負担で補償額100万円に対する負担保険料（事務費含む）は既存の農業共済と比較しても安いです。（図2）

Q 収入が9割以下になることってある？

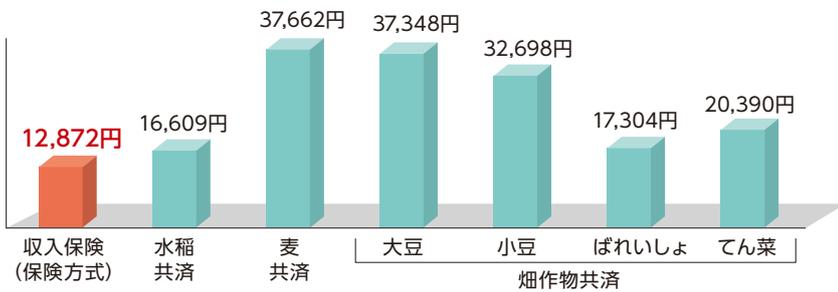
A 収入保険は最大9割補償ですが、支払い機会は少なくありません。令和3年の契約では、加入者の47%が保険金等の支払いを受けています。（表1）

● 図1 加入件数（令和4年7月末現在）



また、積立方式への加入で最大90%補償にできません。「掛捨て」ではない積立金は、加入者が25%を積立することで、自動的に国が残りの75%を積立してくれます。被害時は、加入者の積立金を取り崩した額の「3倍」が国から支払われることから、積立方式の加入はメリットが大きいです。

● 図2 補償額100万円に対する農業者負担保険料等（令和3年度全道平均）



思い立ったが吉日！  
お見積もりはもちろん無料！お近くのNOSAで試算してみませんか？

収入保険は、降雨のない日が続く干ばつや高温、突然降ってくる雹、集中豪雨、極端に遅い根雪など、近年の異常気象によってもたらされる自然災害の他、農業者自身では防ぎようのない市場価格の低下によって支払われる例が多いためです。

● 表1 保険金等支払実績（件・%・百万円）

	加入件数	支払件数	割合	保険金等支払金額
令和元年	1,369	281	20.5	1,554
令和2年	2,053	517	25.2	2,863
令和3年	4,428	2,086	47.1	7,633

入ってよかった！

# 収入保険



中札内村協進地区

(有)ファーム自然代表

柳沼 巧也さん(42)

馬鈴薯、小豆、キャベツ、白菜、ニンジンなど 40畝  
2021年3月加入(加入2年目)



## Q 加入のきっかけは？

地域のほとんどの生産者が畑作物共済に加入していますが、NOSAから収入保険の説明を受け地区担当職員に加入について相談しました。

畑作物共済では対象になる作物が限られていますが、収入保険は品目の枠にとらわれず、すべての農産物が対象になるのが魅力でした。

また、畑作物共済では主に自然災害による収量減が補償対象ですが、収入保険は更に価格低下、災害で作付け不能、けがや病気で収穫作業ができないなどのほか、取引先の倒産など、幅広い収入減の要因が補償対象となることから加入を決めました。

## Q 加入してみようですか？

昨年は、コロナ禍による消費減少と天候不順や価格低下などにより収入減少が見込まれたため事故発生通知を行い、つなぎ融資を受けました。手続きはとても簡単で、貸付を希望してから1カ月程度でスムーズに資金を受けることができ、年度末の経費の返済にとても助かりました。つなぎ融資の借入金は支払われる保険金等で相殺でき、無利子でもあるため、とても良い制度です。

## Q 収入保険に期待することは？

加入申請の事務手続きなどについては煩雑なこともあり、今後もNOSA職員に相談をしていきたいです。

農業経営に欠かせない燃料や肥料などの資材高騰に拍車がかかっており、農業の現場では一層の負担増が懸念されることから、今後も引き続き検証・検討を重ね、ニーズや現状に即した収入保険になってほしいです。

## 加入者の方へのお知らせ

### 継続加入手続きはお済みですか？

「自動継続特約のご案内」が届いた方は、スマートフォンでQRコードを読み取ることで、継続加入手続きがWEBで簡単に行えます。届きましたらすぐに手続きすることをお勧めします。

スマートフォンをお持ちでない方は、同封の回答用紙をFAXや電話または直接NOSAへ提出し、手続きすることができます。

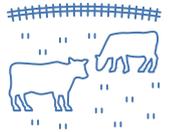
自動継続特約を選択していない方は11月30日までに継続加入手続きが必要です。

ご不明な点はお近くのNOSAまでご連絡ください。

継続加入手続きは、保険期間の開始日の属する月の前々月の末日までです。

### 〈例〉

- 個人 → 11月30日
- 3月1日開始法人 → 1月31日



よくわかる

# 家畜共済特定損害防止事業

皆さんは診療に訪れた獣医師から特定損害防止事業特損という言葉聞いたことがありますか？  
今回はNOSAI北海道が行っている損害防止事業のうち、特損についてご説明します。

## 特損の目的

家畜の病気や死亡・廃用事故などの発生を未然に防ぐとともに、潜在している病気の早期発見を行うことで、共済事故の発生を低減し、組合員の酪農・畜産経営安定と家畜共済の安定運営を図ることを目的として行われます。

## 実施期間

毎年4～5月頃に開始し、事業費を使い切った時点で終了となります。

## 対象となる疾病

国が対象となる疾病を定めており、令和4年度は下の6疾病の中から各統括センターが地域の実情や費用対効果を考慮したうえで選択実施します。

対象疾病	対象家畜
呼吸器疾患	乳牛・肉牛
繁殖障害	乳牛・肉牛・豚
運動器疾患	乳牛・肉牛
牛伝染性リンパ腫	乳牛
乳房炎	乳牛
周産期疾患*	乳牛

\*第4胃変位、乳熱、ダウナー症候群、ケトン症に限る

## 実施内容

主に集団検査を行い、その中で異常が認められた個体には応急的な処置を施し、以後に治療が必要な場合は主に疾病傷害共済へ引き継がれます。また、病気の予防と発生を減らすためのアドバイスも行います。

## 事業費

特損にかかわる事業費のうち、6割は国からの交付金によって賄われ、残りの4割は当組合が負担します。



超音波診断装置を使用した検査の様子

### ●令和4年度 特損事業費内訳

¥272,554,000

交付金額

¥181,703,120

NOSAI北海道 負担額

注：年度当初予定額

〈令和3年度実績〉令和3年度は当組合全体で総額437,118,810円の事業を実施しました。

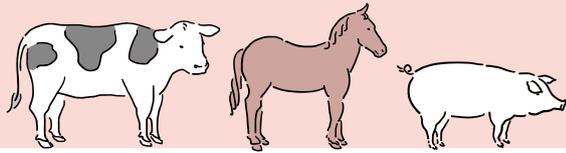
対象疾患の具体的な内容や方法は各統括センターによって異なりますので、詳しくはお近くの支所・家畜診療所へお問い合わせください。

### ●令和3年度 特損実績

	乳牛	肉牛	豚
繁殖障害	¥342,094,120	¥27,778,090	¥974,390
牛伝染性リンパ腫	¥20,887,580	¥476,950	—
乳房炎	¥28,321,700	—	—
周産期疾患	¥16,585,980	—	—

## 牛の個体識別情報(トレサ)への速やかな届け出をお願いします。

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」に基づいて、管理者は牛の両耳への耳標の装着や出生・異動の届出等を行うことが必要です。家畜共済においては、この情報に基づいて事務処理を行いますので、導入や出生により頭数が増えた場合だけでなく、譲渡や死亡した場合も速やかに届出をお願いいたします。



## 発情発見のポイントは何？

十勝統括センター  
十勝西部家畜診療所  
獣医師 太田 明



繁殖成績を上げるには発情の発見が重要です。しかし、近年は高泌乳牛の発情微弱化や、飼養頭数規模の拡大により発情発見が難しくなっています。ここでは、いくつかの文献を紹介しますので、日常の発情発見の参考にしてください。

### 発情発見の観察回数・時間について

表1は、発情の観察回数・時間による発情発見率を調べたものです。観察の回数と時間が増加すると発情発見率も高くなります。観察により発情発見率を高くするためには、1日2回以上、時間をかけて観察することが必要です。

●表1・発情発見率と観察回数・時間の影響

1日の観察回数	1回の観察時間			
	10分	20分	30分	60分
1回	22%	31%	36%	39%
2回	33%	43%	55%	61%
3回	45%	55%	65%	71%
4回	49%	61%	71%	78%

Jodie A Pennington 5

### 発情を集中させる

一番重要な発情兆候であるスタンディング（乗駕を許容する動作）を見つけるためには、マウンティング（他の牛に乗駕する動作）を見つける必要があります。肢蹄の健康状態や牛床の状態にも影響を受けますが、同時に発情している牛が複数いると、お互いに刺激しあうためマウンティングの回数が増加します（表2）。また、ホルモン剤などを利用して発情牛を複数頭集中させることも発情発見率を高めるひとつの方法です。

●表2・発情前期と発情期の牛の数におけるマウンティングの頻度

発情前期と発情期の牛の頭数	1頭ごとのマウンティングの平均回数
1頭	11.2
2頭	36.6
3頭	52.6
4頭以上	49.8

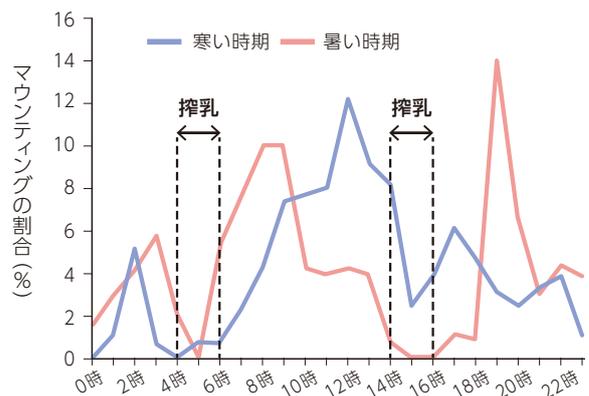
J.Hurnick 5 1975

### 発情を観察する時間帯について

発情観察を牛が発情行動を示しやすい時間帯に行えば、より効率的に発情発見が可能です。搾乳時間帯では発情兆候をほとんど示さず、搾乳終了後から活発になっています。また、暑い時期は夜間や早朝などの涼しい時間帯、寒い時期は暖かい日中に発情行動が認められやすいのが分かります（図1）。

一般的には繋ぎ牛舎で搾乳後にパドックへ出したときなど、自由に動けるようになった後は、マウンティング行動が多くみられ、発情が観察しやすくなります。また、牛群全体が伏臥して休息している静かな時間帯は、粘液の排出が観察しやすく、発情の牛だけ起立していたり、落ち着きなく動き回っているのが目立つため発情発見が容易となります。

●図1・暑い時期と寒い時期のマウンティング行動の時間ごとの変化



J.A.Pennington 5 1985

### 最後に

効率よく発情発見するために、さまざまな発情発見補助器具が利用されています。補助器具のみに頼るのではなく、目視による発情観察と併用することにより、見逃しが少なく正確なより良い発情発見につながります（表3）。発情発見方法は様々ですが、より効率的に発情発見率を高めていきましょう。

●表3・観察方法による発情発見の比較

観察方法	発情発見率(%)	※特異度(%)
農場スタッフの観察	56.5	92.9
頸部装着の活動量モニター	58.9	93.5
歩数計	63.3	73.5
頸部装着の活動量モニター+農場スタッフの観察	75.0	91.7
歩数計+農場スタッフの観察	74.4	68.1

※特異度：発情の正確性

Holman 5 一部改変 (2011)

#### 参考文献

- 1 University of Arkansas, Agriculture and Natural Resources, publications FSA4004
- 2 J.A.Pennington: J.Dairy Sci.68: 3023-3030(1985)
- 3 J.F.Hurnick et al: Applied Animal Ethology 2: 55-68(1975)
- 4 A.Holman et al: Veterinary Record 47: 169.doi: 10.1136/vr.d2344(2011)



## スマート農業を目指して

おか だ ひろ ゆき  
北斗市 岡田 浩幸さん



導入4年目のドローンと岡田さん

岡田浩幸さん（52歳）と息子の和也さんは、平成30年に北斗市で初めて農業用ドローンの免許を親子で取得し、平成31年から実際にドローンを導入してスマート農業（ロボット技術や情報通信技術を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業）を本格始動しました。

近年は水稲の作付をやめてしまう農家も多く、空いた農地を任せられるうちに、面積が増え続け、水稲面積は37haを超えました。

### 農業用ドローンの導入

岡田さんは水稲の他にも牧草など30ha、



病害虫防除のため農業をドローンに補充する岡田さん



令和4年8月17日3回目の水稲防除を行う和也さん

さらに24棟のハウスで軟白ネギの作付や約100頭の黒毛和牛を飼養しています。

そのため、稲の農薬散布や追肥、牧草の播種にドローンを活用して省力化できないかと考え、スマート農業の一つである農業用ドローンの導入を決めました。

今年でドローンを導入して4年目を迎え、和也さんと協力しながら定期的な病害虫防除と他の作業を並行して行うことができ「大きなメリットを感じている」といいます。

### ドローン導入のメリット

連続した1畝ほどの水田であれば10分ほどで防除が完了するため、広範囲にある水田でも稲の生育に合わせた農薬散布が可能となりました。

「導入前は乗用管理機で病害虫防除を

行っていたため、水田にぬかるんで埋まってしまうと思い通りに作業が進まず、収穫や翌年の作業にも悪影響が出るため、防除時はいつも注意しながら作業をしていました。ドローン導入後はその心配がなくなり、精神的にとっても楽になりました」と話します。

### スマート農業に向けた取り組み

岡田さんはドローンの他にも水田の自動給水器の導入や、自動操舵の田植え機やトラクターを活用する等、スマート農業に向けて着々と前進しています。

さらに水稲苗の一部を密播苗にすることで、春先の種まきや田植えの省力化と、作業時期の分散を図ったり、自家産の堆肥を水田に活用し、肥料の節減をするなど、削れる作業や経費を上手に削減する工夫をしています。

また、北斗市米穀振興会の会長も務める岡田さんは、令和4年1月19日開催の第59回（令和3年度）北海道優良米生産出荷共励会で、移植栽培うるち米個人の部で「特別優秀賞」を受賞しました。

岡田さんは「今後もさらなるスマート農業を目指して、ドローンの活用幅を増やすなど、模索していきたい」と話しています。

あふれる熱意と行動力で、農業に取り組む人々を、北海道各地からご紹介します。

## ポニーの躍動感で観客を魅了

旭川市 <sup>おお たか とも ゆき</sup> 大高 朝幸さん

### 45年の歴史に幕

旭川市で昭和52年から45年間に渡り開催されてきた「ポニーばん馬大会」が、6月19日の開催を最後に、幕を下ろしました。長く大会を主催してきた大高朝幸さん(81歳)は「最後の大会も、駐車場が満車になるほどお客さんが集まり、楽しんでもらえて良かったです」と話します。

### まるで農耕馬のような迫力 ポニーばん馬大会の歴史

「ポニーばん馬大会」は、高さ2メートルの障害がある全長250メートルのコースを、約



「長い間、楽しんでもらえて良かった」と話す大高さん

100匹のおもりが積まれた馬そりをポニーが引き、ゴールを競うレースです。コースは、旭川市神居町台場の大高牧場内に整備されていますが、毎年、釧路市や函館市など道内各地のポニーが参加し、今大会は約40頭が出走しました。

もともと「ポニーばん馬大会」は、馬好きの仲間と結成した実行委員会が大会を運営していましたが、資金難もあり、大高さんが現在の場所に牧場を開き、コースも整備。

それ以降、大会の運営やコースの管理は、全て大高さんが1人で行ってきました。今大会も草刈りや駐車場整備まで全て手掛けましたが、自身が高齢となったことを理由に、今大会をもって終了とし、来年以降は開催しないことを決めました。

### たくさんの笑顔に包まれた 時間、達成感に満足

大高さんは「大会はこれで終わりますが、寂しさはありません。これまでやってこられた達成感と、みんなに喜んでもらったうれしさでいっぱいです」と笑顔を見せます。

続けて「印象に残っているのは、子ども



大高さんとじゃれる、大会で優秀な成績を修めた「くりお(2才)」

たちを集めて、1頭のポニーと綱引き対決をしたことです。ポニーは小柄ですが、力強さと素早さはかなりのもの。子どもたちの楽しそうな顔や驚いた顔は、今でも忘れられません」と振り返ります。

大会は終了しますが、馬の飼育は今後も続けていくという大高さん。「35歳の時に、近隣農家が飼育する馬のたくましさひかれてポニーを飼い始め、これまでにたくさんの馬を飼ってきました。あれから長い年月が経ちましたが、馬のおかげで楽しくやってこられました。これからも、馬と楽しく過ごしていきたいです」と表情を緩めます。



## 独自の酪農スタイルを貫く

### おがたもとひこ 標茶町 尾方 基彦さん



「日本アルプスを縦断してみたい」と話す尾方さん

標茶町沼幌地区で酪農業を行う尾方基彦さん(52歳)は、平成10年から「牛舎を必要としない放牧のみ」の独自の酪農スタイルを貫き、現在は搾乳牛53頭、乾乳牛1頭を飼養しています。

### 畜産業界のピンチをチャンスに

尾方さんは、酪農業界の高齢化や跡継ぎ問題、輸入製品との価格競争など、畜産業が衰退していくのではと思いい、高校卒業後の進路を決める際に「ピンチをチャ

ンスに！」との思いで酪農を目指し畜産関係の大学へ進学。大学では家畜栄養学を専攻し大学院へ進み家畜の栄養に関して学びました。在学中は十勝管内の酪農場で搾乳を手伝ったり、気になる経営を行っている農場へ話を聞きに行ったりと北海道の大学生活を満喫。在学中に北海道で酪農をやるうと決意し、標茶管内で2年間の実習経験を積み現在の場所で酪農を開始しました。

帯広畜産大学の同級生だった妻と二人三脚で、酪農経営と3人の子育てに奮闘してきました。就農当時は夜中に電牧の設置作業や他農場でのヘルパー業をしていたため「今やると辛いことでも当時は辛くなかったです」と振り返り、就農してから現在まで大きな問題もなく経営を維持しています。

### 低コストでゆとりある生活を

牛舎を必要としない酪農形態を行っている尾方さんは「高い飼料を与えなくても搾乳ができるような飼料設計にこだわっています」と話します。放牧専用地で一年中放牧を行い、草が足りない時のサイレージを採草地で用意し、牧草の種類は特に気にせず有機栽培を行い、採草作業

は機械代を抑えるため外注しています。

また、放牧地で牛を飼養しているため、冬に分娩するリスクを回避する季節繁殖を行っています。生まれた子牛は販売し、毎年春の市場で7頭の初妊牛を導入し牛群の更新を行っています。現在の酪農経営は学生時代に訪れた酪農場で得た知識をもとに行い、これまで22年間独自の方法で酪農業を営んできた尾方さん。今後「通年野外飼養」に取り組み、低コストを追及しつつ、ゆとりある生活を送りたいとしています。



屋外で周年飼養されている乳牛



## 人と自然にやさしい農業をしたい

西興部村 岩越 正剛さん



「西興部村に人を呼びたい」と話す岩越さん

### 珍しい野菜を栽培

西興部村の岩越正剛さん(56歳)は、令和3年に合同会社瀬戸牛農園を設立し、バイオマス熱源を利用した農業に取り組んでいます。  
農園名は、村の旧名称瀬戸牛(セツウシナイ)からきています。

同農園では、ビタミンCがレモンの2倍ほど含まれていて1年中栽培可能な「スティックセニョール」、食用ホオズキの「キャンディーランタン」、カブの一種の「コールラビ」など、珍しい野菜を育てています。一般的に売られている野菜でも、どこか少し

でも違うところを出していかないと、店頭に並んでも手に取られることが少ないこともあり、珍しい野菜を栽培しています」と言います。

「苦勞しているのは、農薬を使用しないからこそ害虫がついてしまうこと。野生動物の被害もあり、エゾシカ、ウサギ、アライグマによって食べられてしまうことがあります」と栽培の難しさを話します。

### バイオマス活用した循環型農業

循環型農業を営む岩越さんは、化学肥料を使用することで、土が痩せてしまうことが一番の問題だと考えています。

「土は、繊維質がないとふかふかにならないので、ふん尿からバイオガスを抽出した消化液を堆肥として畑へ散布します。そこに含まれる微生物の死骸がアミノ酸となり、畑に還元され植物が吸収することによって生き生きとし、甘みや旨味が増して味の深みが出ます」と話します。

以前はトマトやカボチャ、クワの実などを利用してジャムを作っていました。食品衛生法が変わったことからやめました。今後は、出荷できない農産物を廃棄しないよう、食品ロスを削減したいと考えています。

### 西興部村へ人を呼びたい

岩越さんはバイオマス熱源を利用して、エディブルフラワー(食用の花)を栽培する予定です。

「畑や作物を通じて西興部村に人を呼びたい」という思いから、視覚、嗅覚、味覚、触覚、聴覚の「五感で体験する農業体験イベント」を周辺地域と連携できれば地域経済の循環に繋がるのではないかと模索中です。

「化学肥料を使用しないで作った畑でそのまま食べられる野菜」を普通で買えるようにしていきたいです。循環型農業で人と自然に優しい農業をしたい」と笑顔で話してくれました。

「瀬戸牛農園」のホームページ  
(<https://setoushi-farm.com/>)



一年中栽培可能な「スティックセニョール」



食用ホオズキ「キャンディーランタン」



NOSAI 北海道

# ぐるっと北海道

地元素材にこだわるグルメや、大自然を堪能できる名所など、  
地元だからこそわかるレアな魅力を発信していきます。



ニセコ町

## ゆり根を使った新たな特産品 「ゆり根焼酎」

ニセコ町で多く生産されているゆり根ですが、新型コロナウイルスの影響を受けて需要が落ち込み、出荷減でその多くが捨てられてしまうところでした。そこで、ニセコ町と町内の酒米農家などでつくる団体「大吟醸ニセコ蔵人衆くらびと」は小樽市の田中酒造と協力し、ゆり根の加工品を企画。町産の酒米「彗星」とゆり根を合わせた「**ニセコ町蔵人衆ゆり根焼酎**」が誕生し、昨年9月から販売を開始しました。

ふくよかな風味が好評で、今年も販売を継続。道の駅「ニセコビュープラザ」をはじめ、町内4店舗で取り扱っています。



羽幌町

## あなたもライダーズ名鑑の1ページに

HP <https://www.kirikiri-haboro.com/>

パスタをメインとしてピザやカレー、ドリアなど約40種類を提供している**カフェ・民泊「cafe & inn 吉里吉里」**。

店主の坂本貞義さかもとさだのりさんは、1980年代のバイクブームの

時から、店を訪れるライダーとバイクの写真を撮り、車種などを記録した「ライダーズ名鑑」を作成しています。

今までに約5万

冊が250の冊子にきれいにまとめられ、店内の書棚に飾られています。

過去にライダーズ名鑑に記録された方は、訪れた年と名前を伝えれば、冊子の中から5分くらいで探し出してくれます。

新車を買った、免許を取った、バイク旅が好き、そんな方はぜひ一度お立ち寄りください。



## 本別町

# 亜麻仁油を特産品に

本別町押帯地区の富川<sup>とみかわのりき</sup>範己さんの畑で栽培した**亜麻を使用したドレッシング**がこのほど販売を開始しました。亜麻仁油は昨年収穫したもものから抽出し使用しています。



亜麻は昭和初期に繊維を採取するため町内でも多く栽培されていましたが、実には注目されていませんでした。近年は健康志向が高まり、亜麻の実に含まれているオ

メガ3系脂肪酸が注目されたこともあり、数年前から試験的に栽培し今年も8月下旬に収穫を迎えました。

亜麻の収穫は大豆などを収穫するコンバインを使い効率よく収穫できますが、脱穀の段階で殻から実を取り出すのが困難で、手作業で凹凸した板にこすりつけて殻と実を分離させる工程に手間がかかります。

今年はドレッシング約700本を製造し、音更町のスーパー「ハピオ」とJR帯広駅内のとかち物産センターで販売しています。



## 中標津町

# しあわせのソフトクリームでホッとひと息

開陽台は標高270mの台地で周囲に視界を遮るものがないため、展望台からは大平原を一望することができます。根釧台地の格子状防風林や広大な牧場を見渡せることができ、中標津町の絶景スポットとして知られています。「ライダーの聖地」とも言われ、観光シーズンでは全国各地からライダーがやってきます。

展望台に併設されている「**cafe kaiyodai**」ではソフトクリームやジェラートのほか、「シレットコ・ドーナツ」などを販売しており、ドライブ途中の休息にぴったりな商品を味わうことができます。その中でも大人気商品が「しあわせのはちみつソフト」です。中標津産牛乳を使用した自家製

ソフトクリームに開陽台周辺で採れたはちみつをトッピング。はちみつの甘さがミルクの濃厚な味わいにマッチして、広大な大地の景色を楽しみながらの至福のひと時を味わえます。



## 佐呂間町

# お腹にやさしく濃厚でコクのある 「ジャージーミルク」がこだわり

佐呂間町若里にある**若里ジャージーミルク工房ARVO-アルボ**は昨年の8月にオープンし、8月8日で1周年を迎え、週末の土曜・日曜日に営業しています。

同工房は、湧別町の有限会社中谷牧場<sup>なかたにともりのり</sup>（中谷友則代表）の直営店で、生産したジャージー牛の「A2ミルク」を加工・販売しています。店頭には、牛乳、ドリンク、ヨーグルト、アイス、ジェラート14種など加工品が並びます。

お店の名前はフィンラ

ンド語の「アボイ」が由来で、「特別な」という意味があり「場所、物、時間、出会いなど特別な場所になるように」と想いが込められています。

廃校になった小学校校舎を改装しており、平均台や鉄棒など備品が残っていて、カフェスペースの他に遊ぶスペースもあり懐かしさを感じる明るい雰囲気の内装が特徴です。



今回の  
プレゼント

正解者の中から抽選で「柳月 十勝地区  
限定オリジナル商品詰め合わせセット」を  
30名の方にプレゼントします!



**【柳月 十勝地区限定オリジナル商品詰め合わせセット】**

柳月(本部音更町)の十勝地区限定商品のみを選びすぐりした、オリジナル商品詰め合わせセットです。  
セット内容はスイートピア・ガーデン店限定の「三方六はちみつレモン味」、ばんえい十勝を記念して作られた馬蹄形チョコレート「ばんえい十勝(6個入)」、厳選された十勝産大納言小豆をふっくら炊き上げた洋風きんつば「とかち大納言(5個入)」となっています。十勝が誇るスイーツの味を、ぜひこの機会にご堪能ください。



応募  
方法

【メール】honsyo\_kouhou@nosai-do.or.jp  
【FAX】011-232-3246  
【ハガキ】〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル15階  
NOSAI北海道 クイズ係

応募はNOSAI北海道で農業保険に加入している方とご家族に限ります。  
上記の応募方法から、住所・氏名・年齢・加入者氏名・電話番号・右記クイズの答えと「NOSAIほっかいどう」へのご意見や感想を記入してご応募ください。

応募  
メ切り

**令和4年12月23日(金)必着**

※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズに  
答えて

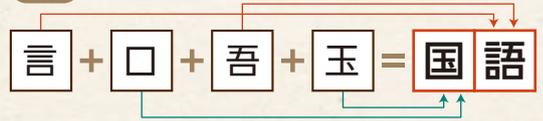
プレゼントを当てよう!

# NOSAIクイズ

次の4つの漢字を合体させて  
二字熟語を完成させよう!



例題



Q1

A1:



ヒント 大会に勝つためにはとにかく〇〇だ!

Q2

A2:



ヒント 写真を撮るときは〇〇でハイチーズ!

前号の  
答え

A1:

豊 富

A2:

酪 農

A3:

ト マ ト

## 今号の表紙



「自分の農場だけでなく、未来の農業のためにも活動したい」と今後の抱負を語ってくれた一真さんとご家族

新得町屈足地区で小麦9・4畝、ばれいしよ8畝、豆類5・2畝、てん菜8・8畝、かぼちゃ5畝やニンジン、ブロッコリーなどを栽培する平一真さん(ひらかずま)ご家族とお手伝いの方々に、畑の収穫や麦の播き付け作業でお忙しい中、快く撮影にご協力いただきました。

平農場では毎年、新得町立レディースファームスクールや北海道立農業大学校から農業実習生の受け入れを積極的に行ない、農業を志す若者たちと交流しています。9月には新しい家族も増えて、益々笑顔が絶えない明るい一家となりました。

# ＼NOSAI北海道からのお知らせ／

## あすの経営と暮らしに役立つ 農業共済新聞

### 営農と暮らしを豊かにする情報が満載です

昭和23年に創刊した農業共済新聞は「農家に学び、農家に返す」を編集の基本方針として、営農と暮らしに役立つ情報を提供する週刊紙です。8ページを基本に、農政や農業保険（農業共済及び収入保険）をめぐる動き、ビジネス（経営改善）、すまいる（暮らし・娯楽）、営農技術（農産物流通・資材）など幅広い分野を網羅しています。

### 農業共済新聞はここが違います

#### 生産現場のアイデアを満載

所得向上や経営改善につながる栽培や飼養管理、加工や販売のアイデアから、豊かな暮らしを実践する女性・高齢者の活動など、農家と地域の創意工夫を紹介します。

#### 分かりやすい農政解説

1週間分の農政の動きをコンパクトにまとめ、ニュースの背景や展望を主に解説、生産現場の視点から問題提起を行っています。各界の執筆陣が担当するコラム「ズバリ宣言」、農家の寄稿による「大波小波」も好評です。

#### 丁寧な農業保険制度の説明

各事業の仕組み、必要な専門用語、加入や被害申告の際の留意点などを分かりやすく説明。事業運営を支えるNOSAI部長の活動やNOSAI団体の農家支援活動も紹介しています。

#### 読みやすい紙面で、身近な話題がいっぱい

カラー紙面を多用し、写真や図表を活用した読みやすい紙面づくりに努めています。地域に密着した情報を提供する「北海道版」「地域共通版」を発行。NOSAIの職員が取材した身近な話題が満載です。



＼毎週水曜日(月4回)の発行です。／

組合員年間購読料  
年極め(1年間) 3,840円(税込)

NOSAI北海道では、農業保険加入者を対象に、年間5,520円の購読料に、1,680円の助成を行っています。購読を希望される方はお近くのNOSAIまでご連絡ください。

# N's kitchen

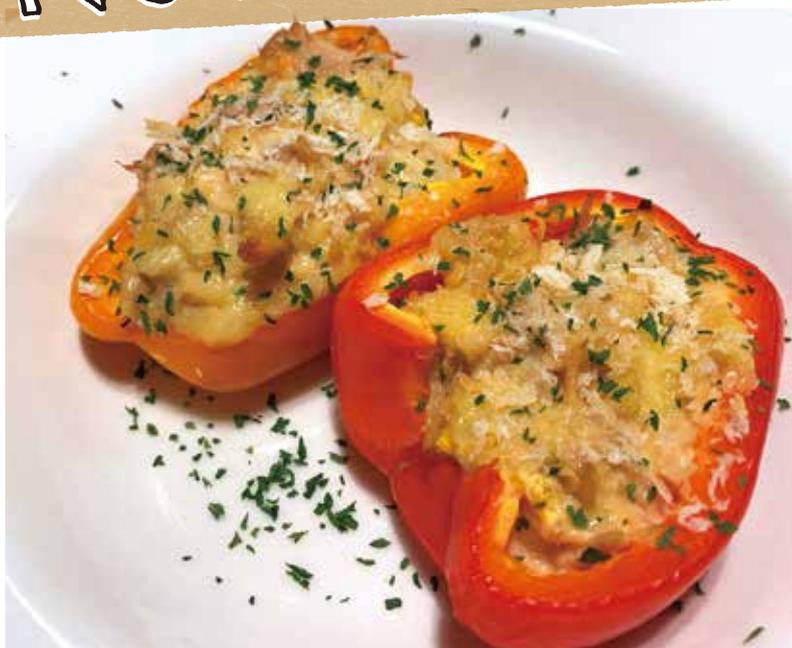


今回の食材は

**パプリカ**



原産は南米大陸で、『ビタミンエース』と呼ばれるビタミンA、ビタミンC、ビタミンEが豊富な野菜です。中でもビタミンCはピーマンの2倍で、加熱しても壊れにくいのが特徴です。また、食物繊維やカリウム、カルシウムはワタや種の方が豊富に含まれています。色が濃く、表面のハリツヤがあるもの、肉厚のものを選ぶとよいです。



## パプリカの種ごとツナマヨボート

### 材料(4人分)

- ・パプリカ…………… 2個
- ・ツナ缶(水煮) …… 2缶
- ・マヨネーズ  
…………… 大さじ4(お好みで調節)
- ・ピザ用チーズ  
…………… 大さじ4(お好みで調節)
- ・塩コショウ…………… 少々
- ・パン粉…………… 適量
- ・パセリ…………… 少々

### 作り方

- 1 パプリカは縦半分に切りヘタを取る。種とワタは細かく刻んでボウルに入れる。ツナは軽く水分を切っておく。
- 2 1のボウルに水切りツナ、マヨネーズ、ピザ用チーズ、塩コショウを入れよく混ぜる。ここでオーブンを200℃に予熱しておく。
- 3 2をパプリカに詰め、パン粉を散らす。200℃のオーブンで15分ほど加熱する。加熱時間は表面に焼き色がつくくらいまで、様子を見ながら調節する。焼きあがったら上からパセリを散らして完成。



### レシピ考案/



野菜ソムリエ  
森 雅美さん

江別市の森農場で農作業全般と販売を担当。野菜ソムリエの資格を生かし、食育活動にも力を入れています。

現在はホームページ『森のみのり』でネット

販売を展開中。Facebook、Instagram、Twitterで農場の様子を日々発信しています。

### ポイント

栄養豊富なワタや種を捨てずに中身に混ぜ込むことで、抵抗なく食べられるように工夫しています。ツナはベーコンなどで代用ができ、キノコやいろいろな野菜を混ぜたオリジナルの具材でもおいしくいただけます。火を使わないので、小さなお子さまと一緒に作りやすい一品です。

